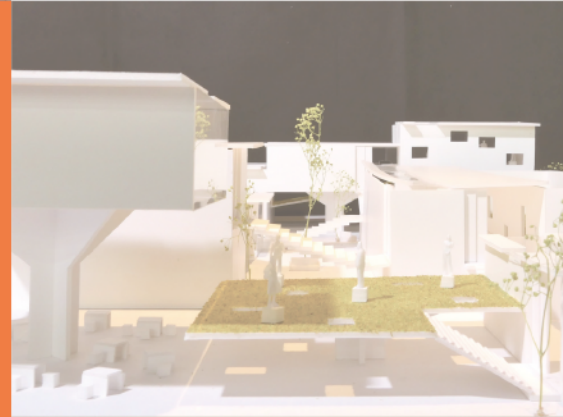




2025
GUIDE BOOK



CONTENTS

- 02 ごあいさつ
03 新しいカリキュラム
取得可能資格について
卒業後の進路
04 カリキュラムの特徴
05 学生によるデザイン作品例
06 デザイン実践紹介

研究室情報

- 08 建築デザイン研究室
09 プロダクトデザイン研究室
10 ファッションデザイン研究室
11 コミュニティデザイン研究室
12 空間デザイン研究室
13 環境デザイン研究室
14 ファッションビジネス研究室
15 アパレル管理研究室
16 人間工学研究室
17 材料科学研究室

- 18 学科の一年
19 助教・助手紹介

INFORMATION

各研究室については
ウェブサイト上に公開しています。

環境デザイン学科：
www.jissen.ac.jp/learning/hles/environment/

実践女子大学：
www.jissen.ac.jp

2025年度より 「環境デザイン学部 環境デザイン学科」 始動！

● 環境デザイン学部 環境デザイン学科について



環境デザイン学部 学部長
橘 弘志 教授

2025年度「環境デザイン学部 環境デザイン学科」が始動します。これまで以上にデザインについて幅広く、より深く学ぶことのできる学部・学科を設立しました。モノのデザインのみならず、ヒトのデザイン、コトのデザインにいたる幅広いデザインスキルを体系的に学び、自ら環境を創り出そうと考えるデザインマインドを身につけることで、よりよい社会づくり、より豊かな環境づくりに寄与する人材の育成を目指しています。

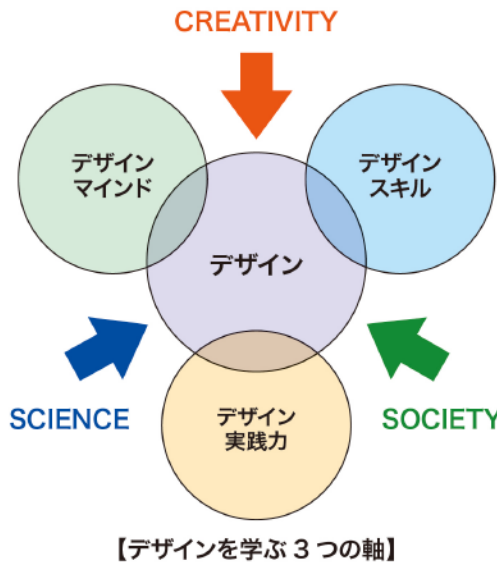
私たちの生活は、衣服や道具、家具やインテリア、住宅や施設、都市やコミュニティといった身の回りの環境によって支えられ、形づけられています。それらをデザインすることは、社会をより暮らしやすいものへと変え、私たち自身の生活をデザインすることに他なりません。私たちの生活の豊かさ、ウェルビーイングを実現する上で、「環境デザイン」のスキルとマインドは大きな役割を果たすものと考えます。

先行き不透明で予測困難と言われるこれからの社会では、周りに流されず自分の頭で考える力、社会の課題を発見し解決する力、自ら未来を創造し自分の人生を切り拓いていく力が必要とされています。デザインを学び、創造性を身につけることは、こうした時代の要請に応えるものです。それは同時に、本学の建学の精神「女性が社会を変える、世界を変える」を体現することでもあるのです。

「デザイン」とは、卓越したセンスを有する一部の専門家だけの特別なスキルではありません。

社会的な課題を発見し、解決するための思考、提案、実践すべてを含み、多様な立場の人と協働して実現するプロセスです。自分の頭で学び論理的に思考すること。自分の手を使って新しい形を創り出すこと。実社会に自分の足で出向き実践すること。そこに、本学科における新しいデザインの学びの特徴があります。

みなさんも是非、デザインのスキル、マインド、実践力を身につけて、「社会を変える人、世界を創る人」になりませんか。



● 環境デザイン学部 環境デザイン学科での学びについて

本学科の学びの領域として「アパレル・ファッション」「プロダクト・インテリア」「建築・住環境デザイン」「総合デザイン」の4領域を設定しています。

カリキュラムとしては、それぞれの領域において、基礎から応用、そして実践に至るデザインスキルを修得するために、体系的に学ぶ講義科目と多様な演習科目を用意しています。さらに、より総合的・実践的なスキル獲得のため、専門領域を超えて課題の発見・解決に臨む、社会連携型のプロジェクト科目も設けています。こうした科目のほとんどは選択科目であり、各自の興味や将来計画に応じ、自由に、柔軟に、履修することができます。複数領域を跨いで幅広く学ぶことも、専門性を深く追求することも、どちらも可能なカリキュラムです。

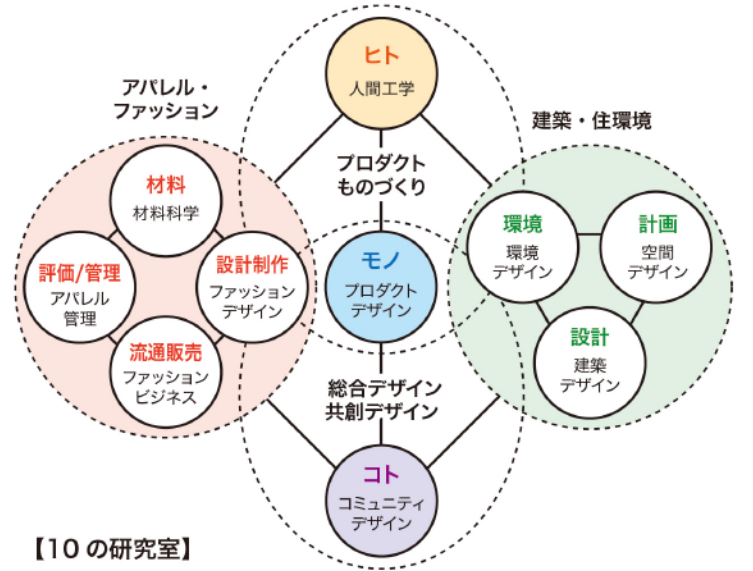
そして本学科には、これらの学びの領域を網羅する形で10の研究室があり、専門性を活かして特色ある教育・研究に努めています。3年次から、いずれかの研究室に所属して、教員の指導のもとさまざまな活動や研究に取り組む、研鑽力、実践力、協働力を培っていきます。

● 取得可能資格について

本学科では、専門的な能力を高め、卒業後に社会で活躍できるよう、資格取得の支援にも努めています。1級衣料管理士（TA）資格、一級建築士・二級建築士の受験資格、教員免許状をはじめとする、多くの資格やスキルを取得することができます。

■ 取得可能資格一覧

卒業時に得られる資格類	1級衣料管理士（1級テキスタイルアドバイザー） 教諭1種免許状（中学・高校 家庭科） 司書教諭（要教諭免許状）
所定単位取得により得られる受験資格	一級建築士 二級建築士
所定単位取得と試験の合格により得られる資格	インテリアプランナー アソシエイト・インテリアプランナー（准インテリアプランナー）
在学中に受験して得られる資格類	色彩能力検定 カラーコーディネーター検定 繊維製品品質管理士（TES） ファッション販売能力検定 ファッションビジネス能力検定 パターンメイキング技術能力検定 商品装飾展示技能検定（VMD検定） 接客販売技能検定3級 商業施設士 インテリア設計士2級 インテリアコーディネーター 福祉住環境コーディネーター JIDA デザイン検定



● 卒業後の進路

多くの卒業生が、それぞれ専門を活かした職業で活躍する一方、情報産業や金融、一般企業でも幅広く活躍しています。また、大学院修士課程に進学し、より専門的な指導を受け、高度の研究能力、問題解決能力を培うこともできます。

■ 主な就職先企業一覧（2021～2024）

アパレル・繊維関連	株式会社ビギ、株式会社ユナイテッドアローズ、株式会社ボルトン、株式会社しまむら、ルイ・ヴィトンジャパン株式会社、株式会社アダストリア、青山商事株式会社、株式会社ベイクルーズ
住宅・建築・設計	積水ハウス株式会社、三菱地所ホーム株式会社、株式会社一条工務店、大成建設ハウジングコーポレーション株式会社、株式会社長谷工コーポレーション、東急リパブル株式会社、大和ハウス工業株式会社、三井不動産リアルティ株式会社、ミサワホーム株式会社、旭化成リフォーム株式会社、世紀東急工業株式会社、株式会社銭高組
プロダクト・インテリア	キヤノン株式会社、名央産業株式会社、クリナップ株式会社、株式会社大創産業、コーナン商事株式会社、大光電気株式会社、株式会社LIXIL、タカラスタンダード株式会社、株式会社ジーンズ
金融・保険	イオンプロダクトファイナンス株式会社、日本生命保険相互会社、住友生命保険相互会社、明治安田生命保険相互会社、東京信用金庫、多摩信用金庫、みずほビジネスサービス株式会社
教育・官公庁	(学)実践女子学園、(学)東京理科大学、長野県教育委員会、岐阜県教育委員会、豊島区役所、さいたま市役所
その他	株式会社小田急ビルサービス、三菱商事パッケージング株式会社、西武鉄道株式会社、株式会社三越伊勢丹、株式会社晋遊舎、株式会社サンドラッグ、株式会社コーセー、日本調剤株式会社、株式会社千代田グラビヤ、ロクシタンジャパン株式会社、株式会社ゼンショーホールディングス
進学	実践女子大学大学院、東京理科大学大学院

ファッションデザイン

衣服やファッションアイテムのデザイン、品質評価、流通・販売など幅広く学ぶ



私たちの最も身近な環境である衣服のデザイン・製作に取り組みます。1級衣料管理士の資格取得に沿ったカリキュラムで、衣服の製作、素材の開発、品質管理、流通・販売まで、社会で求められるトータルな技術と知識を身に付けます。

情報・視覚デザイン

レイアウト、パッケージ、映像、WEB など視覚的な情報発信のスキルを学ぶ



情報を整理し、編集し、発信するための情報デザイン、および、視覚的な手段で効果的に相手に伝えるためのスキルを磨くビジュアルデザインを学ぶカリキュラムです。ICT 技術をデザインに活かすことは、どの分野を学ぶ上でも必要なスキルと言えます。

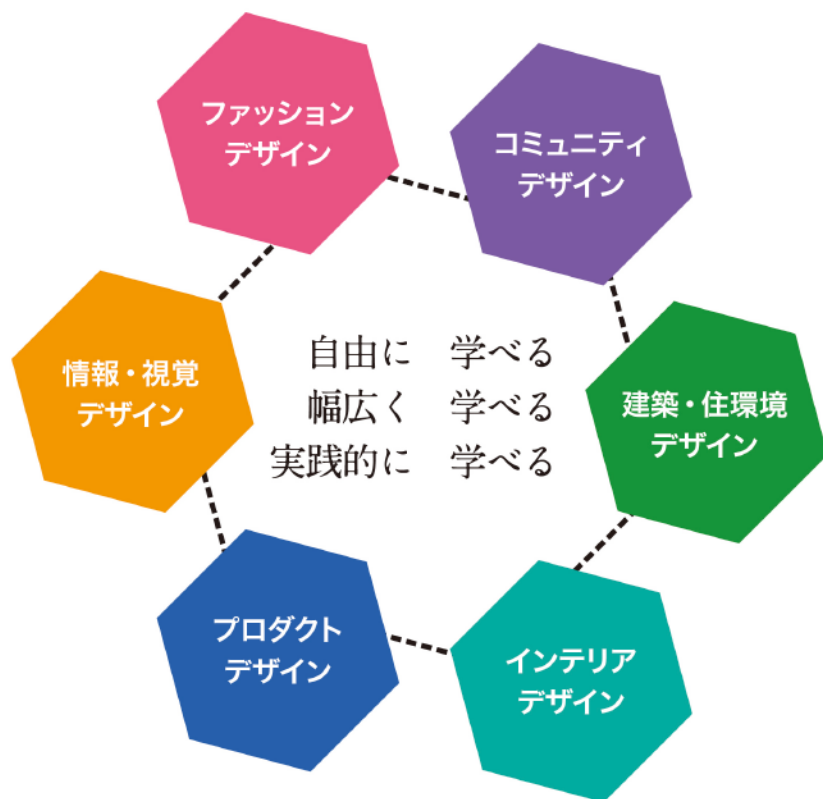
プロダクトデザイン

生活用品や家電製品、インテリア製品など、身の回りにある製品のデザインを学ぶ



私たちの生活を支えている様々な製品デザインに取り組みます。デザインの基礎から実際のものづくり、製品として完成させるマネジメントまで、体系的に学んでいきます。使う人のニーズや体験を重視した「人間中心設計」の考え方を身に付けます。

多様なデザインスキルと 実践力を身に付けるカリキュラム



コミュニティデザイン

社会の現場で総合的に課題の解決に挑む多くの人と協働・共創するデザインを学ぶ

各分野で学んださまざまなデザインスキルを総合的に用いて、実際の社会的な課題に応用していきます。社会連携プロジェクトなどを通して、多くの人たちと一緒に問題を発見・分析し、協働して解決方法を提案する、総合的・実践的なスキルを身に付けます。



建築・住環境デザイン

住宅から公共的な施設まで、様々な規模・用途の建築デザインを学ぶ

暮らしと社会を豊かにする建築・住環境を学びます。一級／二級建築士の受験資格取得に対応したカリキュラムで、設計製図、建築計画、環境工学、建築構造など、建築士に必要な知識・技術を網羅しています。毎年10人程度が建築士試験に合格しています。



インテリアデザイン

インテリアの様々な要素を組み合わせ、快適な室内空間づくりを学ぶ

インテリアのデザインは、建築的な空間の内部に、家具や道具、照明やファブリックなど、多様な要素で成り立っています。素材や色彩、光環境や音環境なども重要な要素です。快適で魅力的なインテリアの実現を目指して、総合的な知識と技術を学びます。



自由に選択して学ぶ

本学科のカリキュラムはコース制ではありません。どこかのタイミングで一つのコースを選択する必要はありませんし、3年次にどのゼミに所属しても、履修科目が制限されることはありません。必修科目は、各学年に1つずつの4科目のみ。それぞれのデザイン領域から、自分の興味に応じて自由に科目を選択し、自分に合ったカリキュラムを組み立てることが可能です。

はじめは幅広く学びながら、少しずつ自分の興味・関心を絞り込む「**レイトスペシャライゼーション**」に対応しています。

幅広く総合的に学ぶ

新カリキュラムでは、従来の「ファッションデザイン」「プロダクトデザイン」「建築・住環境デザイン」に加え、「コミュニティデザイン」「情報・視覚デザイン」「インテリアデザイン」など、デザイン演習科目を大幅に増強しました。

多様なデザインスキルを身に付けることは、目の前の問題に対してさまざまな角度から考え、多様な解決方法を組み合わせ対応する**総合デザイン**の力を身に付けることに繋がります。ぜひデザインの引き出しを増やして、将来の可能性を広げていきましょう。

深く専門的に学ぶ

それぞれのデザイン分野では、初めての人でもしっかりとデザインのスキルとマインドを身に付けてもらうため、基礎から応用まで、体系的に学べるカリキュラムを組んでいます。授業体系に沿って一步一步学ぶことで、高度な専門性を修得することができます。

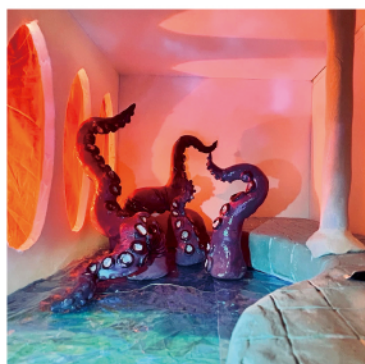
本学科のカリキュラムは「**一級・二級建築士受験資格**」「**1級衣料管理士資格**」などの資格取得に対応しています。教職(中学・高校家庭科)も取得可能です。またそれ以外にも、在学中の様々な資格取得をサポートしています。

実践的に学ぶ

分野を超えてさまざまなデザイン手法を駆使しながら、社会の課題に取り組むためのプロジェクト科目「環境デザインプロジェクト a・b」(2年次)および「総合設計演習」(4年次)を新設しました。複数の教員と協力しながらチームで取り組む**社会連携プロジェクト**を通して、協働力と実践力を磨いていきましょう。

環境デザイン学科には、各分野において地域連携／企業連携を進めてきた経験豊富な教員が多く揃っています。

学生による デザイン作品例



デザイン実践紹介



卒業制作が学外展で賞を次々に獲得！

建築系学科を有する多くの在京大学から秀逸作品が集結した「第33回 JIA 東京都卒業設計コンクール2024」において、田丸陽菜さん作の「線状空間からの立体空間構成方法」が藤本審査委員長による「藤本賞」を獲得し、都代表として全国大会出場を果たしました。また、2024年4月に開催された「第24回卒業設計コンクール」において、竹島綾里さん作の「都市型高層建築構成法」や松岡実優さん作の「真仮想空間」もダブル受賞しています。さらには、「第23回卒業設計コンクール展」において、最優秀賞にあたる「埼玉県知事賞」に宮本早紀さん作の「北本循環交流神社」が、次点にあたる「準埼玉賞」に高波晴夏さん作の「Green・Blue・Stage・Less」が選出されました。



産学福連携アップサイクルファッション 企画・販売

ファッションデザイン研究室では、産学福(福祉)連携活動としてアップサイクル・エシカルファッションに取り組んでいます。素材には、繊維商社の瀧定名古屋(株)で毎年10トンも廃棄されてきた高品質でデザイン性の高いサンプル生地などの未利用布と、多摩都市モノレール(株)の廃棄処分になる作業着、制服、ネクタイ、日野市民から出された不要衣料を活用しています。そして作品のファッションショーと展示(p.10掲載)を行いました。また、学生自らが商品企画を行い、福祉施設「名古屋身体障害者福祉連合会第一ワークス・第一デイサービス」の利用者に縫製を依頼し、完成した商品は文化祭やイベントに参加し販売しています。



テレビ東京 田村淳さんMCの「TAMARIBA」へ番組出演し、日野市を舞台にデザイン提案

実践プロジェクトcの講義にて「地域のリ・デザイン」をテーマに、日野の街をフィールドにした「リサーチ〜ビジネスモデルづくり〜デザイン提案」を作成し、4チームがテレビ収録の場で田村淳さんへプレゼンテーションをおこないました。各チームがそれぞれの視点で日野の街からコンセプトを導き出し、コミュニティづくりのプロセス提案や、特産品であるブルーベリーをバズらせる等、グラフィックや模型、DIY 什器やスイーツ提案など、ビジネスモデルと合わせて、様々なデザイン分野を横断した「総合デザイン(コミュニティデザイン)」としてのプレゼンテーションとなりました。ぜひYouTubeでもプレゼン動画が視聴できるので、ぜひご覧ください！

本館 5F 535

建築デザイン研究室

Architectural Design Laboratory

E naito-masatoshi@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8900

研究室およびゼミの紹介

情熱とこだわりを持って、独創的なものを創造する研究室です。建築や都市のデザインとは、空間と共に行為を設計する学問です。固定概念にとらわれず、今のそして未来の施設利用者がわくわくするような、オリジナリティと社会性が共生する楽しい建築を創造しましょう。その実現に向けて、人の行動分析や地域社会、都市、現代建築、建築史の調査・研究に取り組みます。さらに、自身の設計事務所での住宅や商業施設、社会福祉施設、劇場、図書館などの多様な建築設計や工事監理の実践で積み重ねた経験を積極的にお伝えします。是非とも先進的な空間思想の構築にトライしてもらいたいと思っています。

3年生のゼミでは、以下の3つのことにチャレンジします。

- ①一人で取り組む、綿密なエスキスを伴う作業
極めて高度な建築設計など、私との十分なエスキスを通してブラッシュアップしていくクリエイティビティの高い取り組みへのチャレンジです。
- ②ペアを組んで取り組むフィールドワーク
建築の視察やプロダクトデザインなど、座学では学ぶことができないテーマに対して、ペアを組んで臨むチャレンジです。(ペアはランダム、毎回変更)
- ③全員で協働しながら取り組む大きな作業
「常磐祭・デザイン&セルフビルド計画」や「光の庭」など、みんなで団結してとにかく大きなことを計画して実践するチャレンジです。
その他、ゼミ合宿やイベントなど楽しいことなら何でもやっちゃう研究室です！



NAITO, Masatoshi
内藤 将俊 教授

1972年埼玉県生まれ。建築家／一級建築士。ニューヨークのコロンビア大学大学院を修了後、設計事務所での10年間の勤務を経て、自らの建築設計事務所を設立。劇場や図書館、社会福祉施設、クリニック等の公共性が高い建築から、店舗や個人住宅までの設計・監理を行う「なんでも屋」。未だに物理的な構造と空間の構成が一致した建物に出会うとドキドキします。

主な担当科目と概要

住環境デザイン論、建築・インテリア構法、生活空間設計製図1、建築デザイン論、デザインワークショップ(構法・構造演習) など。

<2023年度卒業研究>

テーマも含めて自主性を尊重し、取り組んでももらいます。(卒業設計展受賞案多数) 線状空間からの立体空間構成方法、都市型高層建築構成法、小鹿田Layered～3つのプログラムレイヤーで実現する集落構成法～、幹線歩道建築群、嫌われメカニカル～戒めの資源化～、真仮想空間 等(制作)



常磐祭「製図室リアルタイム改造計画」

高さが2.2mの「軸組展示デスク」や「ホルーパー天井」「展示タワー」「スチール本棚デスク」で構成されています。天板の高さや角材の水平・垂直ラインを究極まで揃えることで、緊張感が漂う「PC用集中空間」が生まれました！



2022年入学 大河原 桜 岩下 杏望

情熱とこだわりを持ち、建築からプロダクトまで多様な活動に励みます。個人設計や大学を改修する計画は達成感も満載でみんなの仲も深まります！「夢を実現させるための通過点」を充実させたい方、ぜひ内藤ゼミへ！

本館 2F 228

プロダクトデザイン研究室

Product Design Laboratory

E anzai-toshinori@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8896

研究室およびゼミの紹介

研究領域は「モノ・コト」のデザイン。研究対象は、プロダクトデザイン、人間中心設計(HCD:Human Centered Design, JIS Z8530:2021、以降HCD)、デザインマネジメント、デザインプロセス、産学連携プロジェクト 等になります。HCDの考え方に則りつつ、提案する製品デザインの提供価値を最大化することを研究していきます。また、モノのデザインの延長として、コトのデザインであるサービスデザインについての研究もしていきます。

4年生は「卒業研究」を中心に、就職活動をしながらか卒業制作に励みます。3年生は「生活環境学セミナー」を中心にゼミ活動を行い、相撲グッズの提案等、産学連携プロジェクトを通してデザイン能力を高めていきます。

主な担当科目と概要

- デザイン基礎演習a：デザインは自分で考えたアイデアを形やイメージとして表現することから始まります。その基本となるのは2次元のスケッチです。この授業ではスケッチを中心とした表現方法の基礎を、演習を通して学びます。
- プロダクトデザイン概論：身の周りにある全てのモノ・コトはデザインされています。私たちはデザインされたモノ・コトに包まれて生活しているのです。プロダクトデザインの生い立ちや、領域、海外の状況等を学んでいきます。
- ビジュアルデザインa：視覚的なデザインは、情報の意図、意味、感情を伝えるコミュニケーションの道具であり手段です。Illustrator等を使い、視覚化の構成方法や表現技法、レイアウトなどの基本的な技術を修得します。



ANZAI, Toshinori
安齋 利典 教授

1957年福島県生まれ。1982年千葉大学大学院工学研究科工業意匠専攻修了。同年三菱電機株式会社デザインセンター入社。1999年三菱電機フランス出向(2001年デザインスタジオディレクター)。2003年帰任。2005年宣伝部(2010ウェブサイト統括センター長)。2014年 博士(工学)。2015年札幌市立大学デザイン学部教授。2023年実践女子大学生生活科学部教授。

■プロダクトデザイン演習a：調査・分析、コンセプト立案、デザイン展開、モデル化等を通して、製品をデザインする方法を習得します。モデルを作りポートフォリオにまとめ、インターンシップや就職活動等へ役立てます。

<2023～2024年度卒業研究>

故人を身近に感じられる新たな仏壇、インターネットを活用した祖母のレシピ、海洋ゴミアクセサリ、照明付きサイドテーブル、新しいアヒルのカタチ、小動物の飼い主向けサービス、日本の花から抽出するCMFのデザイン、木のおままごとキッチン、茶道でリラックス。



「相撲グッズのデザイン提案」

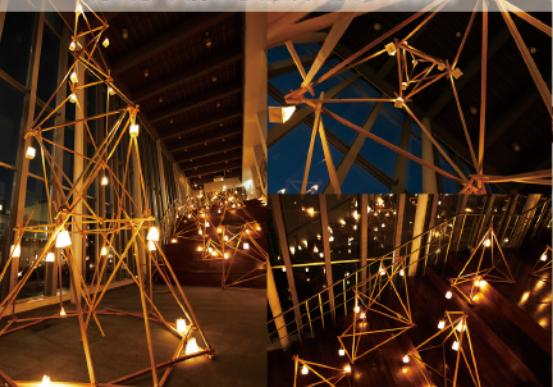
日本相撲協会との包括契約により、これまでデザインした相撲グッズの多くが商品化されてきました。2024年12月に、ゼミ生がたくさんの「スー女」作ろうと日本相撲協会にプロトタイプを作ってデザイン提案しました。



2022年入学 高柳 夏帆 神倉 舞

先生は、私たちにに対して家族のように接してくれます。課題に追われて諦めかけていた時には、励ましのエールをかけてくれます。先生のゼミだからこそゼミ生が仲良くなり「楽しいゼミライフ」を送れていると感じます！

光の庭 大勢の地域住民で賑わいました！



ゼミ合宿 3・4年みんなで「いざ北陸へ」



複合型高齢者福祉施設 さくらの花会館／設計監理：内藤将俊



ゼミ風景



夏のゼミ合宿



5月の国技館調査 方売店



本館 3F 323

ファッションデザイン研究室

Fashion Design Laboratory

E takizawa-ai@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8903

研究室およびゼミの紹介

私自身の専門は、誰しもが毎日着る「服」でありながら芸術品として扱われる服の最高峰、フランスのオートクチュール（高級注文服）のファッションと被服構成学です。これまでのゼミでは、主としてデザインや制作をしたい学生が集まり、ゼミ生自身が描いたデザインを基にオートクチュール作品の卒業制作とファッションショーの指導を行ってきました。近年ではゼミ生達がー丸となって企画・デザイン・制作したアップサイクル商品を商業施設で消費者の方に直接販売するなど、活動の幅も広がっています。今後も地場産業や企業との商品企画、販売などの活動は積極的に取り組んでいこうと考えています。

ゼミでは、デザイン画の表現法はもとより、デザインをする際に必要不可欠なリサーチ力やポートフォリオ作成法、トレンド分析等を実践的に取り組み、身に付けていきます。ファッションの表面的な華やかさとは裏腹にコツコツと地道に積み上げていく地味な作業が続きますが、その先に、裏付けのあるデザインやそのデザインに関して説得力のあるプレゼンテーションが出来るようになること、最終的には作品を観た人の心に響き感動を与える表現力の修得を目標としています。

主な担当科目と概要

- ファッションデザイン論：ファッションの源流から今日に至るまでの歴史や、文化的・科学的視点からの理論について、実践を交えて学びます。
- アパレルデザイン基礎：衣服設計の基本となる人体の構造や運動機構、動作に伴う変化や体型把握法、人体形態と衣服パターンの関係などを学習します。



TAKIZAWA, Ai

滝澤 愛 准教授

日本女子大学家政学部被服学科卒業後、Ecole de la chambre syndicale de la couture parisienne (現IFM)に入学しDiplômeを取得。卒業前よりEMANUEL UNGAROのオートクチュールのドレス部門で修業を始め、プレタポルテやオートクチュールのパリコレクションを裏側から経験。ウングロ氏の引退を機に帰国。その後はデザイン活動やプロ・学生の指導にあたる。

- アパレルデザイン実習a：自分の好きなデザインの上衣（ブラウス）と下衣（スカート）の制作実習を通して、衣服設計の基礎的な知識を理解し、技術を習得します。
- <2024年度卒業研究>
学生自らテーマを決めてデザインした作品をオートクチュール技法で制作。
テーマ例：Fusion- 時代を超越したデザインが生み出す新しい魅力を表現した作品制作-



「ファッショントレンドとデザイン」

パリで年2回開催される世界最大規模の生地展示会 PREMIÈRE VISION PARIS では1年先の生地や色のトレンドなどが発表され、ファッション界に大きな影響を与えます。これらの情報を基にデザインを考えてみませんか。



2020年入学 浅沼 怜珠

ファッションデザイン研究室では、様々な衣服の制作を行っており、ドレスや舞台衣装などの制作にも挑戦できます！
またテーマを決めファッションショーなども行うため、気になる方は是非滝澤研究室へ！

本館 4F 428

コミュニティデザイン研究室

Community Design Laboratory

E isshiki-hiroataka@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8899

研究室およびゼミの紹介

コミュニティデザイン研究室は、「身の回りの小さな社会を楽しく動かすこと」をテーマに、建築設計・まちづくり・ブランディング・事業企画・DIY・グラフィック・ワークショップなど、多岐にわたる分野のデザインを取り入れながら、共創・協働によるコミュニティデザインに取り組んでいます。そして様々なデザイン分野を横断するデザインディレクションや、共創・協働によるモノ・コトづくり、それらを総合的なデザイン視点で編集していくスキルと経験を身につけていきます。私の設計事務所で手掛けている「今進行中」のプロジェクトにも、チャンスがあればぜひ参加してもらいたいと思っていますし、建築設計やまちづくりの実務で得たリアルタイムな経験をゼミの中でも紹介し、社会との接点をできるだけ多くすることを大切にしています。そして、社会をより良い方向へと導くアプローチを、学年や年齢など関係なく、研究室一丸となって実践していきます。

研究室では、実際の社会(コミュニティ)をフィールドに、様々なデザインを介して「課題」や「可能性」を発見し、その場を少しアップデートできるような取り組みをおこなっていきます。身近な日野キャンパスをフィールドとした学生の居場所づくり(リサーチ+設計+製作)にはじまり、日野市内の街中でコミュニケーションの実証実験に取り組んだり、遠方では以前より交流のある新潟県十日町市の田野倉集落でのフィールドワークや地域の文化伝承、DIYによるモノづくりなど、さまざまな地域で活動をしています。



ISSHIKI, Hiroataka

一色 ヒロタカ 准教授

1981年千葉県生まれ。建築家／一級建築士。千葉工業大学大学院工学研究科を修了後、山本理顕設計工場を経て、オンデザインへ参加。2015年に自身の建築設計事務所 irodori を設立し、「身の回りの小さな社会を楽しく動かすこと」をテーマに、住宅や施設の設計、まちづくりやブランディングなど、コミュニティデザインの視点で社会へアプローチを試みています。

主な担当科目と概要

- ワークショップ演習やコミュニティデザイン論aなどの、コミュニティデザインにおける講義から、空間造形基礎や生活空間設計製図3などの、建築設計の軸となる講義、そして分野を横断する、生活環境プロジェクトa.bを担当します。
- <2024年度卒業研究>
小さな建築をDIY製作しての街中実験や、集落の未来を創造する建築設計等。



「リアルな社会でアクションする研究室」

都市部や地方など、出来るだけリアルな社会での活動を大切にしており、机上での設計やデザインと、リアルな社会でのコミュニケーションを相互におこなう、体験と経験、そして感動を大切にしたい研究室を目指しています！



2022年入学 志村 陽花

元気で自由! いざ取り組む時にはしっかりと結果を出します! 一色先生をはじめ、個性豊かなメンバーが集まっているゼミです。ここでは主体性を育むことができます。一緒に後悔のない大学生活を送りましょう!

アップサイクルファッション（常磐祭）のテーマ決めとデザイン



アップサイクルファッションショー（常磐祭）



アップサイクルファッション作品の展示（常磐祭）



キャンパスの広場を、デザインアップデート！



総合デザインプロジェクトがグッドデザイン受賞



共創でつくる、建築設計の実務プロジェクトへ参加



本館 4F 425

空間デザイン研究室 Space Design Laboratory

E tachibana-hiroshi@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8904

研究室およびゼミの紹介

「ふだんの暮らしを豊かにするデザイン」について考えています。

「デザイン」とは、見た目の造形とか装飾だけでなく、そこに居る人、暮らす人、利用する人の生活の質を豊かにするために、環境を意図的に変化させること、だと考えています。部屋のインテリアからそれぞれの住宅、まちにある施設や外部空間に至るまで、いろんな空間のデザインが、人の暮らしにさまざまな影響を与えています。そのときおそらく、空間要素などの物理的な環境だけでなく、そこにいる他の人たちの様子や、その場の社会的ルールなど、社会的な環境も組み合わせあって、複合的に影響を与えているでしょう。

いろんな現場に赴いて、じっくり観察をしたり、人の話を聞いたりして、空間デザインのための知識やヒントを得たい、そしてそれを次のデザインに応用して新しい提案に結びつけたい、そんなことを目指して活動しています。

3年生のゼミでは、各種イベントに力を入れながら、その年ごとにミニ研究を行ったり、制作を行ったりしています。2024年度は、Corian 学内コンペにグループで取り組み、夏には3・4年生合同で神戸～淡路島への合宿を遂行、常磐祭では、合宿で実際に体験して印象的だった「六甲校垂れ」「こども本の森神戸」「竹中大道具館」「ヨドコウ迎賓館（旧山邑邸）」の模型の作成・展示を行いました。手間と暇をかけながら、今まで自分でやっていなかったような活動にチャレンジすることで、自分の可能性を開いてもらえることを期待しています。

主な担当科目と概要

住居学／住居デザイン論／建築構造／福祉住環境論／生活空間設計製図2／実



TACHIBANA, Hiroshi

橘 弘志 教授

1965年1月生まれ。神奈川県横浜市出身。博士（工学）、一級建築士。所属：日本建築学会、日本インテリア学会、人間・環境学会、日本医療福祉建築協会など。いよいよ今年から環境デザインの新学部が始動しますが、個人的には渋谷と日野の往復が増え、目の前の課題遂行に追われ、徒に連日あたふたしていることが増えそうです。静謐な日々の到来を心待ちにしています。

実践教養講座d（共通科目）（生活空間計画／建築法規／設計製図基礎）等
＜2023年度卒業研究＞

「中高生の居場所としての青少年施設における研究」「Instagramの投稿画像に対する評価構造とその影響」「PPPを活用した公園の実態調査」「勉強場所とその環境」「若者の日常生活におけるインターネットとのつきあい方」／「汽水の場」「能動的自転車ストリート」「おすそわけのまち」（制作）



「ばなばなゼミの日常」

大きな目玉行事もありますが、普段の生活にも大きな変化がありました。空きコマやお昼の時間など少しの時間でも気づいたらゼミ室にいることが増えたり、学校外で集ったり、そういった何気ない時間が充実しています。



2022 年入学 細谷 朋花

個性で溢れたメンバーと一緒にどうでもいい世間話から課題や将来に関する真面目な話まで様々なことを話しながら楽しく生活しています。学校生活がより楽しみになるようなゼミなので、是非橘ゼミへお越しください。

本館 4F 427

環境デザイン研究室 Environmental Design Laboratory

E maki-kiwamu@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8902

研究室およびゼミの紹介

＜デザイン心理学＞

建築でもプロダクトでも、デザインを始めると「これでいいのか!？」と悩むことになります。そこで、デザイン心理学。インタビュー、アンケート、行動観察、評定実験などの心理的・マーケティング的な手法を使って人間と環境の関わりを明らかにしていく。それが考えるヒントになっていく。

景観、インテリア、プロダクト、服。色彩、素材、模様、照明環境、そして人。様々な対象・要素に対して様々な視点から、日々探究しています。

＜3年ゼミ＞

2024前期は内藤ゼミ・橘ゼミと合同で人工大理石を用いた製品コンペを実施、ちょっとした研究を実施してスライドにまとめて発表しました。後期は11月に常磐祭で「不思議の国のアリス」をテーマに光アート空間の展示を、12月にはクリスマス・イルミネーションを本館内のスペースで展開。一年中、何らかのプロジェクトで力を発揮しています。楽しんで、頑張る！

主な担当科目と概要

- 建築概論：古今東西の建築を眺めながら、建築を味わう視点を提供します。建築について考える面白さを見つけてください。
- 実践教養講座b：日本の文学、日本絵画、建築空間。3名の教員が講義して奈良・京都に研修旅行に出掛ける。そんな共通教育科目も担当しています。
- 色彩設計演習a：インテリア、街並みの色彩設計を行い、プレゼンテーショ



MAKI, Kiwamu

槇 究 教授

1964年栃木県生まれ。一風変わった名前は、親父がつけた。一度は企業に勤めながらも、結局こういう職に就いてしまったことを考えると、名前のたたりは恐ろしい。

学会で訪れた場所では建物と美術館を訪れるのが楽しみ。それにおいしい食事が加われば言うことなし。そろそろ海外の建物も見に行きたいものだ。

ンする。自分の色彩計画に根拠を与えて、人を説得するプロセスを体験します。
＜2021～2023年度卒業研究＞

女性ファッションの配色マップ、光環境の変化に伴う建物の見えと印象の変化、売り場から置き場へ～生活に馴染むパッケージデザイン～、実践女子大学生の幸せの類型化、夜間街路の植栽を活かす光環境を探る、など



「クリスマスパーティ」

12月中旬となり常磐祭やイルミネーションも一段落したためイベント係主催の元、クリスマスパーティをしました！机の装飾や明かりなど空間演出にもこだわり暖かい空間の中楽しい時間を過ごすことができました。



2022 年入学 吉田 陽香

今年は遊びにもモノづくりにも全力なメンバーが集まりました。こんなデザインにしたい！へ向かって、それぞれの好きを活かして活動中。想像以上の作品ができた！そんな経験を橘ゼミでしてみませんか？



本館 3F 324

ファッションビジネス研究室

Fashion Business Laboratory

E okawa-tomoko@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8901

研究室およびゼミの紹介

本研究室で扱うファッションビジネスとは、単に「流行のモノを作る」ことではありません。生活者に、製品やサービスを通じて魅力ある提案を行ない、その対価を頂くという価値創造の連鎖が、このビジネスです。ファッションビジネスの特徴は「変化し続けること」。栄枯盛衰が激しい上に、捉えどころの無い難しさも孕んでいます。しかしながら、この領域がカバーする内容は、テキスタイル／アパレル／流通と多岐に渡り、時代や生活者の価値観の変化によってダイナミックな転換が起こる、そこがこの産業の奥深さと面白さです。

ゼミでは学生自らが主体的に取り組むことを主眼に置き、年間通じて企業との「産学プロジェクト」等も行なっています。卒業研究では、現代社会の消費に纏わる様々な事象の背景を、文献調査は勿論のこと、市場調査やインタビュー等のフィールドワークを通して探り、それらの結果から今後の展望を論じることを目的にしています。2年間の研究室活動を通じて、自ら行動する力、物事を多角的に捉える力を醸成します。「真剣に学んで真剣に遊ぶ」が研究室のモットー。毎年、学生のみなさんと新しいチャレンジを続けています。

主な担当科目と概要

- ファッションビジネスの世界：華やかさだけではなく、その裏側の複雑な産業構造や多種多様な企業が存在するファッションビジネスの外観を学びます。
- アパレル生産：テキスタイルの生産と調達に始まり、最終製品になるまでの量産の一連のプロセスについて、企業事例を含めながら学びます。



OKAWA, Tomoko
大川 知子 教授

長崎県生まれ。本学を卒業。ファッション産業界での仕事を経、(一財)ファッション産業人材育成機構 (IFI) にて16年間、将来のファッションビジネスにおけるスペシャリストの育成に従事。その傍ら、首都大学東京で博士号を取得 (経営学博士)。主な共著に『Oxford Handbook of Luxury Business』『ファッションビジネスの基礎知識』がある。

■マーケティング論：日々変化する市場や多様化する現代生活者の動向も踏まえながら、基礎的な理論と現在の企業活動を多角的に学びます。

<2024年度卒業研究>

日本における韓国化粧品市場／OMOを踏まえたファッションブランドの展開／アロマ・ハーブに対する若年層の印象評価／若年層に好まれる香水の現状：その特徴と選択基準／ブランディングにおける企業ロゴの変遷／日本の「盛り」文化：プリクラの誕生から現在他、計9本。



「産学プロジェクト」

アロマ・ハーブを手掛ける『生活の木』から提示いただいた課題に、跡見学園女子大学・大妻女子大学の学生のみなさん「PBL 型プロジェクト」を実施。彼女達ならではの発想で、大変高い評価をいただきました。



2022 年入学 佐藤 乃永

この研究室では他大学や企業と連携したプロジェクトを行ったり、廃棄衣料を利用したアップサイクルなどを行っています。ファッション好きな人が集まっているので、興味のある方はぜひ！

本館 2F 227

アパレル管理研究室

Dyeing & Cleaning Science Laboratory

E shiobara-miyuki@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8898

研究室およびゼミの紹介

アパレル管理研究室は、アパレル (衣服) の材料となるテキスタイル (織物、編物、革、不織布等) を適切に管理するにはどうするのか、家庭洗濯、ランドリー、ドライクリーニングなどを中心に、アパレル製品の品質評価に取り組みます。住環境の管理という側面から、洗浄を切り口に、生活周りの洗剤、人体周りの洗浄剤にも着目し、評価の対象にします。ゼミでは、パソコンでのデータ処理や発表スライド作成を通じて、卒業研究に必要な技術を養い磨きます。ゼミ合宿では、大学内では経験できない工場見学や染色体験、企業見学等を通して、視野を広げ、実際の学びに深みをつけ、自信をつけてもらいます。このようなゼミ活動を通して、学生生活の集大成である卒業研究を進める力と、社会性を養いたいと考えています。

主な担当科目と概要

- 染色加工学：染料の種類と特性、染色理論、染色加工技術を学び、実際に着用している衣服をより身近に感じてもらいます。
- テキスタイル管理学：衣類の基本的な手入れ、管理に関する領域の理論と実感を学びます。
- テキスタイル管理実験：テキスタイル管理学と染色加工学で学んだ知識を実践で確認するために、界面活性剤の働き、洗濯、染色に関する原理を学びます。1級衣料管理士 (TA) に必要な実験技術と評価方法を習得します。
- 生活環境科学：ニオイと環境、住環境と健康、大気汚染と健康、水資源、生



SHIOBARA, Miyuki
塩原 みゆき 教授

鹿児島生まれ。お茶の水女子大学家政学部卒・家政学修士、博士 (学術)。被服整理、染色加工、香粧品科学、皮膚科学。ライオン油脂 (現、ライオン㈱) で商品開発、エフシーゼー総合研究所で生活雑貨、家電、美容器具、化粧品等の商品テスト、検証に関わる。雑誌LDK、家電批評等の商品テストにも携わる。趣味は和裁。他に、手芸 (刺繍、レース編み、編み物) が癒し。

活廃棄物など、衣環境、住環境を中心に、生活環境の現状について学び、快適な生活環境を保持するために必要なことを考えます。

<2024年度卒業研究>

「ダメージジーンズの着用・洗濯が衣服内気候と消費科学性能に及ぼす影響」「避難所を想定した少量の水での効率的な衣類汚ヨゴレの洗濯方法」「廃棄率が高い食品の有効活用～アボカドの種を利用した染色～」 「黄色天然染料と藍で染める緑色染色布の色味と染色堅ろう性の検討」「クレンジング剤の性能評価」



「アップサイクル品の制作」

3年生のゼミの時間には、ファッションビジネス研究室との協働だけでなく、研究室独自の作品も制作します。牛乳パックと絹くず糸を使ったハガキ。絹くず糸を利用したコースター、グラスケース、キャンドル等々。



2022 年入学 出口 夏都 井村 桜子

アパレル管理研究室は、染色・洗浄・加工などが専門です。縫い物やキャンドル作りなど多様に活動しています。体育祭や常磐祭のイベントを重ね、仲も深まります! 楽しく活動したい方、塩原ゼミでお待ちしております!!

三女子大学による「産学プロジェクト」



3・4年生の懇親会



ゼミ合宿は河口湖



藍染しぼりTシャツにロゴの型染



端材の糸を有効活用した再生品



体育祭は手作りTシャツで!



本館 3F 329

人間工学研究室

Ergonomics & Human Factors Laboratory

E satou-takeshi@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8895

研究室およびゼミの紹介

生活の中にみられるデザインには、道具（製品・システム・サービス）があげられます。人間工学は応用範囲が広いため、人間と環境デザインをユーザーの視点や管理者サイドの多方面から検討します。いろいろな考え方・状況の捉え方や評価方法を習得してデザインや社会環境における理論と実践を行うことを目指しています。さらに、より安全で健康に快適にするための条件を人間中心設計の視点から調査・研究します。ゼミで行った調査・実験を学会発表やコンペの機会があります。

主な担当科目と概要

- くらしの人間工学：日常生活環境における人間工学的なモノの見方、考え方、応用されている事例紹介などをオンデマンドで講義します。
- 人間工学：応用・建築人間工学を中心に、2050年問題に向けて幅広く深く人間工学的側面について学修します。
- 人間工学実験：人間工学や応用心理学の実験やデータの分析能力を養う実験授業です。信号処理プログラミングや注視点分析と筋電図法に精通します。
- 人体生理学：私たちの体の生理現象、発育発達、老化、生理限界について理解をしていきます。
- 情報デザイン論：情報の視覚・聴覚・触覚などの表現について、目的に応じて情報を効果的に相手に伝えるデザインを学修します。
- ユニバーサルデザイン論：障がい者や機能の低下した高齢者のみならず多



SATO, Takeshi

佐藤 健 教授

愛媛県出身、早稲田大学卒、博士（工学）。日本人間工学会、日本生理学会、日本計測制御学会、ISEKなどに所属。ヒトのパフォーマンスの測定評価や筋電図・脳波を用いた動作解析やビデオ解析を中心に、デザイン・学習・環境が人間に与える影響を研究しています。最近は、前頭葉活動が出現する動作やノルディック・ウォーキングに関する研究を行っています。

様性を持つ健常者の心身特性や生活実態を理解します。

- 身体運動の科学 a,b：身体活動を中心にスポーツ栄養学入門と神経科学入門について説明します
- ＜2022～2024年度卒業研究＞

両腕協調運動による前頭葉活動の検証、電動キックボードの普及に向けた意識調査と課題、心電図解析による視覚刺激のストレス緩和効果、LEAF-Q-女性における低エネルギー利用率に関する調査、腸音の解析と腸活アプリの検証、バドミントントップアスリートの筋電図解析



「マルチモニターと畳にコタツのある研究室」

自炊、鍋 P 程度までできます。今年は、お魚の三枚おろし、家庭用シン、VR、ちょっとした電気工事 DIY など多くの挑戦をします。時々、癒し系動物型ロボットの研究と称してマスコット猫がきます。



2023 年編入学 上村 奈穂

人間工学研究室では、多様な生活環境での安全や健康をテーマにした研究をしています。測定行脚、展示会参加、合同ゼミ合宿などのイベントが魅力です。学生時代の記念に研究発表、国際学会発表はどうですか！？

本館 2F 223

材料科学研究室

Materials Science Laboratory

E katogi-hideaki@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8897

研究室およびゼミの紹介

近年、世界各国で環境に対応したモノの3R（リデュース、リユース、リサイクル）が推進されています。現在の衣服のリユース・リサイクルでは、古着やウェス、フェルトしてわずかに再利用されているだけです。そこで、古着から繊維を抽出し、樹脂と複合させた環境にやさしい環境調和型材料の創製に関する研究を行っています。また、室内の内装材料やインテリア用品の材料としても繊維が使われています。内装部材やインテリア用の繊維やテキスタイル材料の力学的特性や寿命評価に関する研究や国内外の学会での研究発表も行っています。

ゼミでは、リサイクル可能な繊維やテキスタイル材料の力学的特性や寿命評価、環境調和型材料の創製について学び、プレゼンテーション形式で研究成果を発表します。また、繊維およびテキスタイルの工場見学や学生研究発表会を行い、繊維やテキスタイル材料に関する知見を深めていきます。これらのゼミ活動を通じ、「衣」、「モノ」、「住」分野での環境にやさしい繊維を用いた次世代の製品開発が可能なゼナリストとして教育します。

主な担当科目と概要

- 繊維高分子材料学：「衣」・「モノ」・「住」分野で使用されている繊維高分子材料の種類（化学繊維や天然繊維）や力学的特性、耐薬品性等について学びます。
- テキスタイル材料学：衣服・インテリア製品に使用されている糸や布の種類や構造、各種特性について学びます。



KATO, Hideaki

加藤木 秀章 准教授

静岡県生まれ。2011年～2017年まで神奈川大学工学部機械工学科特別助手・特別助教として勤務。2018年から実践女子大学専任講師として勤務。同年10月から神奈川大学客員研究員としても活動開始。国内外の学会の委員会等に所属し、国内外の学会で盛んに発表している。また、2018年度では、国内のシンポジウムの開催や研究会を運営した。

■繊維高分子材料実験：繊維高分子材料学で学んだことを基礎とし、繊維および高分子の性質や評価方法など実験を通して学びます。

■テキスタイル材料実験：テキスタイル材料（繊維・糸・布）の特性を把握するために必要な実験や評価方法について学びます。

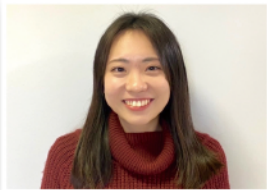
＜2020～2024年度卒業研究＞

「木材の機械的特性と複合材料への応用研究」「天然繊維を用いた布の静的引張特性および耐久性」「アップサイクル向けの複合材料の試作」「医療用布マスクの試作と快適性評価」



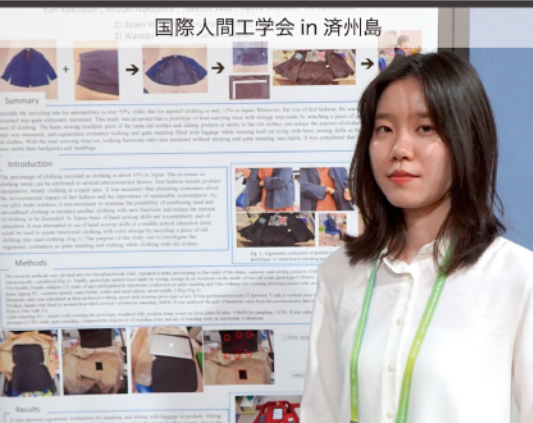
『自由×趣味×実験』したい人集まれ！

「研究って難しそう、分からない」そう思っている貴方、ウエルカムです！
材料科学研究室では、主に材料を取り扱います。服に限らず幅広い分野に触れる為、身の回りのメカニズムについて深く知ることができます！

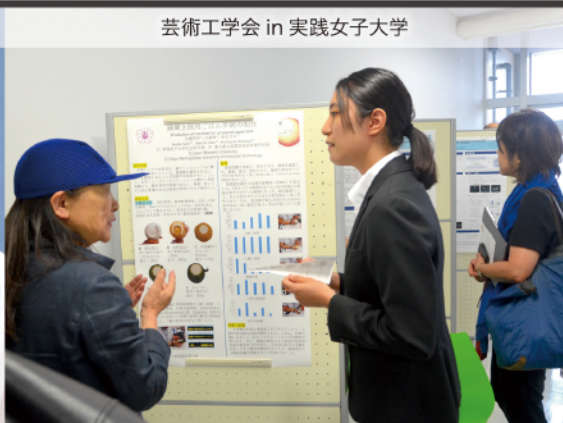


2020 年入学 今井 万凜

材料科学研究室では個性豊かなメンバーと和気あいあいしながら活動しています！4年次の卒業研究に向けて繊維や材料に関する知識の理解を深めるためガラス繊維のヘルメットや複合素材のストラップを作りました。



国際人間工学会 in 済州島



芸術工学会 in 実践女子大学



産業保健人間工学会 in 早稲田大学



シールド作り



ゼミ



体育祭

学科の一年

勉強やゼミ活動だけでなく、学内行事への参加などたっぷり詰まった一年間

【8・9月】夏休み



ゼミ合宿

夏休みの大イベント♪ 研究室でいろんな土地に訪れます。今年はどこに行くのかな？

【11月】



常磐祭

展示、販売、ものづくり体験、イルミネーションなど、研究室の特色を活かして参加します。

【2月】



卒業研究発表会

大学生活の集大成。1年間の研究成果を発表します。卒業制作の展示会もスタート！

【4月】



入学式

入学おめでとう。4年間の学生生活の幕開けです。さて新年度もスタートします！

オリエンテーション 履修登録

【6月】



体育祭

学科の恒例行事!? 多くの研究室がおそろいのユニフォームで挑みます。

【5月】



ゼミ親睦会

新しい仲間と充実したゼミ活動の幕開けです！卒業までよろしくお願いします。

【7月】



入門セミナー発表会

1年生最初の必修授業です。最終課題はプレゼン！堂々と発表しましょう。

前期試験

大学は前期・後期の二期制です。さあ前期試験が始まります。一夜漬けはダメですよ。

【1月】

後期試験

これ乗り越えたら、待ちに待った春休み！しっかり勉強して臨みましょう。

ゼミ決め（2年生）

いよいよ3年生からのゼミを選択する季節がやってきました。研究室を訪問して希望の研究室を見つけましょう！

【3月】



卒業式

涙の卒業式。これから社会へと飛び立ちます。卒業、おめでとう！



学科パーティー

涙から一転、笑顔がはじけます。これで本当にお別れです。

助教・助手紹介

私たち、助教・助手が学生と教員の間に立って、学生生活をサポートします。

助教・助手は大学の先輩にあたる人が多く、学生にとって身近な存在です。

実習・演習を中心とした授業でわからないことや、どんな科目を履修したら良いか等の相談を受けたり、ゼミ活動や卒業研究のアドバイスをしたりと、学生と日常的にふれ合いながら卒業までの4年間を支えています。

学生には、いろんなことに挑戦し、たくさん学び、より多くのことを吸収していったほしいと思います。

そして、この実践女子大学でみなさんが、素敵な「実践（できる）女性」となり、未来へ羽ばたいていくことを願っています。



五十嵐 菜子
(いがらし まこ)
ファッションビジネス
研究室

傳法谷 郁乃
(でんぼうや あやの)
材料科学
研究室

小川 ゆか
(おがわ ゆか)
アパレル管理
研究室

戸嶋 由美
(とじま ゆみ)
ファッションデザイン
研究室

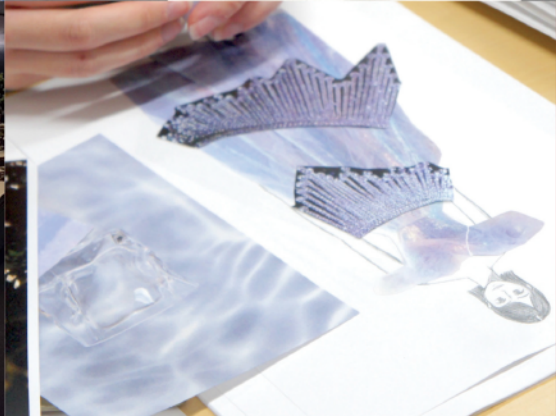
安原 亜美
(やすはら あみ)
空間デザイン
研究室

梶 善美
(かじ よしみ)
プロダクトデザイン
研究室

小林 由希乃
(こばやし ゆきの)
コミュニティデザイン
研究室

原島 美宇
(はらしま みう)
環境デザイン
研究室

猪股 輝子
(いのまた てるこ)
建築デザイン
研究室





実践女子大学

Jissen Women's Educational Institute (JWEI)

日野キャンパス

〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1

TEL 042-585-8817 (代)

入試に関するお問い合わせ 大学入試センター

TEL 042-585-8820 (直通)

環境デザイン学科ウェブサイト

www.jissen.ac.jp/learning/hles/environment/

実践女子大学ウェブサイト

www.jissen.ac.jp



アクセス

【徒歩】

日野駅から 約 12 分

【バス】

日野駅から

日野駅発日野市ミニバス

「豊田駅北口行」約 2 分

【電車】

- ・中央線【新宿駅→日野駅】
快速約 45 分／特別快速約 30 分
- ・埼京線【大宮駅→日野駅】
約 1 時間
- ・南武線【川崎駅→日野駅】
約 1 時間
- ・横浜線【横浜駅→日野駅】
約 1 時間 10 分
- ・京王線【新宿駅→高幡不動駅】
約 40 分／特急・準特急約 30 分

